

平成１６年度（第２２回）土砂災害防止推進の集い（全国大会） 開催要領

１．開催目的

愛媛県は緑の山々と青い海に囲まれ、気候温暖で全国でも暮らしやすい土地柄で、豊かな自然環境が独特の歴史・文化を育んできた。

しかし、県内には中央構造線をはじめとする大規模な構造線が通り、地質は脆く、地形も急峻であるため、土砂災害の危険箇所が数多く存在し、近い将来確実に発生するとされるマグニチュード８クラスの「東南海・南海地震」においては、四国全土でがけ崩れなどの土砂災害が懸念されている。

一方、砂防事業の進展に加え、近年県下では豪雨の発生が少なく人的被害を伴う自然災害が減少していることから、特に都市部では人々の防災意識が低下し、コミュニティの弱体化などにより地域の防災力が低下する傾向にある。

青い海に浮かぶ島々をつなぐ橋や、古い町並みをつなぐ高速道路が交流による地域活性化をもたらすように、地域や人、情報のつながり・ネットワークなどは災害時には大きな防災力をもたらすと考えられる。

梅雨入りにあたり、まちづくりや地域活性化などに取り組むゲストを招いて、これからの土砂災害防止について「つながり」をキーワードに議論し、広く一般市民に防災への備えを啓発する。

２．開催テーマ

「－しまなみ・まちなみ・つながり活かす身近な防災－」

３．開催日時および会場

（１）土砂災害防止推進の集い（全国大会）

- ・日 時 平成１６年６月２日（水）１３：３０～１７：００
- ・会 場 愛媛県県民文化会館メインホール
- ・内 容 １）式典 ２）シンポジウム他

（２）現地研修会

- ・日 時 ６月３日（木）８：３０～
- ・コース
 - A) わたってしまなみコース（蒼社川ユニーク魚道の砂防施設としまなみ海道）
 - B) めぐってまちなみコース（間伐材利活用促進の砂防施設とえひめ町並博）
 - C) つないでさぼうコース（松山城急傾斜地対策・除ヶの堰堤・重信川砂防資料館）

４．対象

一般住民、防災担当者、砂防ボランティア、砂防工事関係者等 計 約１，５００名

５．主催等

主催：国土交通省、愛媛県

後援（予定）：内閣府、消防庁、文部科学省、厚生労働省、林野庁、全国知事会、全国市長会、全国町村会、日本郵政公社、日本放送協会、(社)日本新聞協会、(社)日本民間放送連盟、(社)全国治水砂防協会、(財)砂防・地すべり技術センター、(財)砂防フロンティア整備推進機構、NPO法人砂防広報センター、全国地すべりがけ崩れ対策協議会、(社)地すべり対策技術協会、(財)建設技術研究所、(社)建設広報協議会、全国治水砂防協会愛媛県支部、地元報道関係

６．連携行事

土砂災害防止推進の集い（全国大会）に併せて、下記の行事を実施。

- ①「砂防ボランティア全国をつどい」（６月２日午前、愛媛県県民文化会館）
- ②「砂防関係工事安全施工管理技術研究発表会」並びに
「砂防関係工事現場代理人の会」総会（６月１日午後、にぎたつ会館）

平成16年度 土砂災害防止推進の集い（全国大会）プログラム

6月2日(水)		於：愛媛県民文化会館（メインホール）
12:30 13:30 (40分)	開 場 開 会 (第一部) 式典	・ 主催者挨拶 国土交通大臣 ・ 開催地挨拶 愛媛県知事 ・ 来賓挨拶 ・ 土砂災害防止功労者表彰式
(10分) 14:20	－休憩－ (第二部) 発表・寸劇を交えた対談	(ステージ転換) テーマ 「－しまなみ・まちなみ・つながり活かす身近な防災－」 出演者 ・ 司会進行 NHK解説委員（防災担当） 山崎 登 氏 ・ パネラー 災害ボランティア活動実践者 立木 さとみ 氏（(株)立木写真館常務取締役） 地域活性化リーダー 藤井 祐一郎 氏（(社)松山青年会議所副理事長） リスクマネジメント専門家 三島 和子 氏（(株)インターリスク総研） 教育関係者（災害経験者） 若松 進一 氏（双海町教育長） ・ コメンテーター 国土交通省（砂防部長） 近藤 浩一 氏 ・ 協力出演 双海町立下灘小学校 地元ミュージカル劇団「みかん一座」 話 題 ・ 災害環境・危険箇所を周知する ・ 東南海・南海地震とその対応 ・ つながり活かす身近な防災
17:00	閉 会	・ 主催者 閉会挨拶
17:30	意見交換会 (於：真珠の間) ＊受付開始は17:15より	